

話題(その1)

核データ・炉物理に関する会合の報告

日本原子力学会の年会(昭和53年3月, 工学院大学)の第2日(3月29日, 12:00~14:00)に, 「シグマ」および「炉物理研究」両特別専門委員会の主催で標記の特別会合が開催されました。これまで学会毎に, シグマ特別専門委員会の主催で「核データ・インフォーマルミーティング」を行ってきましたが今回は炉物理研究者との交流を計る意味から共催の形で行われました。核データのインフォーマルミーティングとしては第4回目に当たります。会合は次の次第で行われました。(敬称略)

座長: 山室 信弘 (東工大)

1. 両委員会事務局報告  
弘田 実称(原研)  
更田 豊治郎(原研)
2. 高速炉構造材の中性子データに関する専門家会議(Geel, Dec. 1977)報告  
大竹 巖(動燃)  
浅見 哲夫(原研)
3. 構造材核データについてのコメント
  - (1) JENDL-1の構造材核種 五十嵐 信一(原研)
  - (2) 京大炉での研究から 木村 逸郎(京大炉)
  - (3) 高速炉および遮蔽計算の立場から 小山 謹二(原研)

当日, 会合に参加しなかった方々のためおよび今後の討議の材料を提供する意味から, 本誌では毎回, 当日の講演者にお願ひして講演の内容に沿って執筆していただくことにしています。今回も上記の方々からいただいた原稿を掲載して会合の報告とします。

(事務局編集係)